



2026年3月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2025年8月7日

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所

上場取引所 東

コード番号 6125 URL <https://www.okamoto.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 石井 常路

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長

(氏名) 高橋 正弥

TEL 027-385-5800

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	8,795	14.0	153	—	136	—	16	—
2025年3月期第1四半期	7,716	△36.3	△351	—	△443	—	△392	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △2百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 373百万円 (△77.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	2.48	—
2025年3月期第1四半期	△75.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	62,957	40,031	63.6
2025年3月期	66,804	40,563	60.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 40,031百万円 2025年3月期 40,563百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	80.00	—	80.00	160.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期 (予想)	—	80.00	—	80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想 (2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,000	14.8	1,300	45.9	1,300	147.4	700	124.0	105.88
通期	50,000	14.3	4,800	59.2	4,700	61.1	3,000	48.2	453.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	6,703,795 株	2025年3月期	6,703,795 株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	92,891 株	2025年3月期	92,765 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	6,610,953 株	2025年3月期1Q	5,193,290 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	10
受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ紛争および中東情勢の長期化に伴う地政学的リスクの継続に加え、米国の通商政策がもたらす影響に対する懸念、中国における不動産市場の低迷や貿易摩擦を巡る不確実性の高まりなどを背景に、依然として先行きが見通しにくい状況が続きました。

わが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資の回復を受けて緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、物価上昇の長期化や米国通商政策の影響等により、今後の景気動向には不確実性が残る状況です。

このような中で当社グループは、今期が2年目の中期経営計画「“INOFINITY 700” Innovation × Infinity」の中で掲げた通り、「世界に類のない『総合砥粒加工機メーカー』として、平面研削盤・半導体ウェーハ研磨装置でグローバルNo. 1を目指す」ことを長期ビジョンとして、2030年3月期の売上高700億円の目標達成に向け、販売体制の強化など業績向上に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は8,795百万円(前年同期比14.0%増)、営業利益は153百万円(前年同期は営業損失351百万円)、経常利益は136百万円(前年同期は経常損失443百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は16百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失392百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

①工作機械事業

国内市場におきましては、中小企業の設備投資を支援する各種補助金の後押しを受け、小型および中型の平面研削盤の更新需要やロボット向け精密歯車の需要の高まりから受注は前年同期を上回りました。一方、ユーザーの生産調整や工場建設スケジュールの見直し等により一部納入が延期となった影響もあり、売上は前年同期を下回りました。

海外市場におきましては、米国では、通商政策の影響による駆け込み需要から受注・売上ともに前年同期を上回りました。欧州では、米国による通商政策の影響が経済の下押し圧力となり、受注・売上ともに前年同期を下回っております。中国では、EV車向けで大型平面研削盤などを複数台受注したことから、受注は前年同期を上回りましたが、売上は前年同期にEV車向けの大型平面研削盤の販売が多くあったのに対し、当第1四半期はその水準に届きませんでした。

以上の結果、売上高は5,006百万円(前年同期比13.8%減)、セグメント損失(営業損失)は512百万円(前年同期はセグメント損失340百万円)となりました。

②半導体関連装置事業

半導体市場におきましては、パソコン、スマートフォン向けの設備投資需要が依然として低迷している一方で、通信技術の発達やIoT、生成AI関連分野、自動運転の本格化等を背景として市場の成長が見込まれております。市況低迷の中、在庫調整正常化に向けて、次世代パワー半導体、次世代高周波通信デバイス向けの半導体ウェーハなどで一部需要が出てきております。

このような状況の中で当社グループは、半導体事業の収益力維持、向上を目指して、ウェーハ業界向けのポリッシャーやグラインダの次世代新機種開発などの諸施策を進めてまいりました。その結果、売上につきましては、国内や欧州、東アジア向けにウェーハ生産用ファイナルポリッシャーや米国向けにグラインダを販売し、前年同期に比べ増加いたしました。受注につきましても、東アジアのウェーハメーカー、国内の次世代パワー半導体や次世代高周波通信デバイス向けの取引先からファイナルポリッシャーやグラインダなどの受注を獲得し前年同期を上回ることができました。

以上の結果、売上高は3,788百万円(前年同期比98.5%増)、セグメント利益(営業利益)は1,014百万円(前年同期比236.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して3,847百万円減少し、62,957百万円となりました。主な要因は、棚卸資産が914百万円、有形固定資産が1,036百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が1,633百万円、有価証券が4,100百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して3,315百万円減少し、22,926百万円となりました。主な要因は、短期借入金が2,531百万円、契約負債が703百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して531百万円減少し、40,031百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上16百万円、配当金の支払い528百万円により512百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の60.7%から63.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績につきましては、2025年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,899	9,679
受取手形、売掛金及び契約資産	11,156	9,523
有価証券	6,500	2,400
商品及び製品	5,049	6,282
仕掛品	9,647	9,168
原材料及び貯蔵品	3,922	4,083
その他	1,176	1,284
貸倒引当金	△138	△156
流動資産合計	47,214	42,265
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,922	5,871
機械装置及び運搬具（純額）	4,616	4,530
その他（純額）	6,389	7,563
有形固定資産合計	16,929	17,966
無形固定資産	421	416
投資その他の資産		
投資有価証券	404	424
退職給付に係る資産	1,273	1,287
その他	583	620
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	2,239	2,309
固定資産合計	19,589	20,692
資産合計	66,804	62,957
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,460	2,367
電子記録債務	1,687	1,603
短期借入金	5,926	3,395
1年内返済予定の長期借入金	976	990
未払法人税等	296	278
契約負債	5,739	5,036
賞与引当金	499	381
製品保証引当金	27	28
その他	2,259	2,678
流動負債合計	19,874	16,759
固定負債		
長期借入金	4,115	3,903
退職給付に係る負債	1,196	1,217
資産除去債務	119	119
その他	935	925
固定負債合計	6,366	6,166
負債合計	26,241	22,926

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,783	9,783
資本剰余金	5,042	5,042
利益剰余金	23,256	22,744
自己株式	△396	△397
株主資本合計	37,685	37,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70	84
為替換算調整勘定	2,540	2,516
退職給付に係る調整累計額	266	257
その他の包括利益累計額合計	2,877	2,858
純資産合計	40,563	40,031
負債純資産合計	66,804	62,957

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第 1 四半期連結累計期間 （自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 6 月 30 日）	当第 1 四半期連結累計期間 （自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日）
売上高	7,716	8,795
売上原価	5,764	6,225
売上総利益	1,951	2,569
販売費及び一般管理費	2,302	2,416
営業利益又は営業損失（△）	△351	153
営業外収益		
受取利息	31	12
受取配当金	2	7
助成金収入	8	16
物品売却益	26	13
為替差益	57	—
その他	17	8
営業外収益合計	142	58
営業外費用		
支払利息	34	37
支払手数料	154	3
為替差損	—	20
株式交付費	43	—
その他	3	14
営業外費用合計	235	75
経常利益又は経常損失（△）	△443	136
特別利益		
固定資産売却益	3	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産処分損	6	1
特別損失合計	6	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△446	135
法人税等	△54	119
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△392	16
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△392	16

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△392	16
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	13
為替換算調整勘定	764	△23
退職給付に係る調整額	△9	△8
その他の包括利益合計	766	△18
四半期包括利益	373	△2
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	373	△2

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自 2024年４月１日 至 2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）
減価償却費	506百万円	510百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,808	1,908	7,716	—	7,716
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,808	1,908	7,716	—	7,716
セグメント利益又は損失 (△)	△340	302	△38	△312	△351

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△312百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,006	3,788	8,795	—	8,795
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,006	3,788	8,795	—	8,795
セグメント利益又は損失 (△)	△512	1,014	502	△348	153

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△348百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

(1) 受注状況

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	6,381	99.8	11,012	75.4
半導体関連装置	1,492	127.6	17,891	73.5
合計	7,873	104.1	28,903	74.2

(2) 販売実績

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	5,006	86.2
半導体関連装置	3,788	198.5
合計	8,795	114.0